

【名 称】	国際理解教育推進プログラム開発加配 ～異文化交流活動を通して～	新規	継続	○	加配年度 H29
【現 状】	○H29広島県「基礎・基本」定着状況調査結果(英語) 平均通過率 81.9% ○英検3級情取得者(3年) 60%(10月末現在 二次試験未受験も含む) ○アンケート「外国の人に興味を持ったり、外国のことについてもっと知りたいと思う。」72.6% ○インターナショナルウィークの実施(毎学期)・中華民国との交流				
【目指す姿】	○外国語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の育成を図る。 ○広い視野を持ち、異文化を理解するとともにこれを尊重する態度や異なる文化を持った人々と共生していく資質や能力の育成を図る。 ○日本人として、又個人としての自己の確立を図る。				
【市町教育委員会の教育ビジョン等における位置づけ】 尾道みらいプラン2の国際交流推進事業の推進校として、加配を活用した外国語教育の充実を図るとともに、異なる文化をもつ人々と共生していこうとする態度や積極的にコミュニケーションを図ることのできる資質・能力を育成するプログラムの開発を行う。					
【加配校・活用方法・理由】 加配校〔加配人数〕： <u>尾道市立向島中学校〔1人〕</u> (活用方法) ○国際理解教育を推進する総合的な学習の時間の単元開発 ○外国語教育を充実させるための活動プログラムの作成や指導方法の工夫 ・インターナショナルウィークの見直しと改善 ・スカイプ及び電子メールを活用した国際交流 ・尾道東高等学校との英語交流(指導方法の改善)等 (理由) ・平成24年度から2年間、文部科学省の「英語力を強化する指導改善の取組」及び平成26年度「学力向上対策事業」を受け、研究を重ね英語科の指導改善に取り組んできた。その結果、現在においても広島県「基礎・基本」定着状況調査において、県平均を10ポイント以上上回る英語力の向上が図られている。また、昨年度、加配教員を中心にインターナショナルウィークや中華民国との国際交流を核にした異文化交流を推進するプログラム開発の研究を進めており、これまでの取組を基盤に国際理解教育を推進する研究を深化させるとともに、普及を図っていきたいと考える。					
【成果指標】 ○標準学力調査の結果(英語) ○英語検定3級以上取得者の割合 ○「外国の人と積極的にコミュニケーションを図りたい」という生徒の割合 ○国際理解に対するアンケートに肯定的に答える生徒の割合			【目標値】 ○平均正答率 80%以上 ○63%以上 ○75%以上 ○70%以上		
【その他】					